Keio Associated Repository of Academic resouces

Title 日本企業のアジア展開と本社機能について Sub Title Do Japanese headquaters add value in expanding in Asian markets?  Author 清水, 勝彦(Shimizu, Katsuhiko) Publisher 慶應義塾大学 Publication year 2019  Jtitle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)  JaLC DOI  Abstract 本研究の主目的は、アジア新興国進出・展開に関して日本企業の「本社の価値」について・考察を行うことであった。環境変化の激しい新興国市場では、「スピード」が重視され、日本企業として現地企業・欧米グローバル企業と差別化を行うためには、日本市場ある去の欧米市場進出で得られた知見を活かす必要がある。一般に「現場は強いが、本社は弱いわれる日本企業のアジア展開での役割、課題を明らかにしたいという問題意識を持ってんでいる。 本年度は、そうした問題意識のうちに進める研究の第1年目にあたり、まず既存の研究を、実際の企業へのインタビューなども行って一般的な「本社機能」の課題を整理すること	.る一方 いは過 い」と
Author 清水、勝彦(Shimizu、Katsuhiko) Publisher 慶應義塾大学 Publication year 2019  Jtitle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)  JaLC DOI  Abstract 本研究の主目的は、アジア新興国進出・展開に関して日本企業の「本社の価値」について・考察を行うことであった。環境変化の激しい新興国市場では、「スピード」が重視され、日本企業として現地企業・欧米グローバル企業と差別化を行うためには、日本市場ある去の欧米市場進出で得られた知見を活かす必要がある。一般に「現場は強いが、本社は弱いわれる日本企業のアジア展開での役割、課題を明らかにしたいという問題意識を持ってんでいる。 本年度は、そうした問題意識のうちに進める研究の第1年目にあたり、まず既存の研究を	る一方 いは過 い」と
Publisher 慶應義塾大学 Publication year 2019  Jtitle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)  JaLC DOI  Abstract 本研究の主目的は、アジア新興国進出・展開に関して日本企業の「本社の価値」について・考察を行うことであった。環境変化の激しい新興国市場では、「スピード」が重視され、日本企業として現地企業・欧米グローバル企業と差別化を行うためには、日本市場ある去の欧米市場進出で得られた知見を活かす必要がある。一般に「現場は強いが、本社は弱いわれる日本企業のアジア展開での役割、課題を明らかにしたいという問題意識を持ってんでいる。  本年度は、そうした問題意識のうちに進める研究の第1年目にあたり、まず既存の研究を	る一方 いは過 い」と
Publication year 2019  Jtitle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)  JaLC DOI  Abstract 本研究の主目的は、アジア新興国進出・展開に関して日本企業の「本社の価値」について・考察を行うことであった。環境変化の激しい新興国市場では、「スピード」が重視され、日本企業として現地企業・欧米グローバル企業と差別化を行うためには、日本市場ある去の欧米市場進出で得られた知見を活かす必要がある。一般に「現場は強いが、本社は弱いわれる日本企業のアジア展開での役割、課題を明らかにしたいという問題意識を持ってんでいる。  本年度は、そうした問題意識のうちに進める研究の第1年目にあたり、まず既存の研究を	る一方 いは過 い」と
Jtitle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)  JaLC DOI  Abstract 本研究の主目的は、アジア新興国進出・展開に関して日本企業の「本社の価値」について・考察を行うことであった。環境変化の激しい新興国市場では、「スピード」が重視され、日本企業として現地企業・欧米グローバル企業と差別化を行うためには、日本市場ある去の欧米市場進出で得られた知見を活かす必要がある。一般に「現場は強いが、本社は弱いわれる日本企業のアジア展開での役割、課題を明らかにしたいという問題意識を持ってんでいる。  本年度は、そうした問題意識のうちに進める研究の第1年目にあたり、まず既存の研究を	る一方 いは過 い」と
JaLC DOI  Abstract  本研究の主目的は、アジア新興国進出・展開に関して日本企業の「本社の価値」について・考察を行うことであった。環境変化の激しい新興国市場では、「スピード」が重視され、日本企業として現地企業・欧米グローバル企業と差別化を行うためには、日本市場ある去の欧米市場進出で得られた知見を活かす必要がある。一般に「現場は強いが、本社は弱いわれる日本企業のアジア展開での役割、課題を明らかにしたいという問題意識を持ってんでいる。  本年度は、そうした問題意識のうちに進める研究の第1年目にあたり、まず既存の研究を	.る一方 いは過 い」と
Abstract 本研究の主目的は、アジア新興国進出・展開に関して日本企業の「本社の価値」について・考察を行うことであった。環境変化の激しい新興国市場では、「スピード」が重視され、日本企業として現地企業・欧米グローバル企業と差別化を行うためには、日本市場ある去の欧米市場進出で得られた知見を活かす必要がある。一般に「現場は強いが、本社は弱いわれる日本企業のアジア展開での役割、課題を明らかにしたいという問題意識を持ってんでいる。 本年度は、そうした問題意識のうちに進める研究の第1年目にあたり、まず既存の研究を	.る一方 いは過 い」と
た。これについては、これまでの自分の研究もふまえ、Agency theory およびorganization politicsの視点から英語の学術論文「MISSING ELEMENT OF RESEARCH ON TMT AND STRATEGIC DECISION-MAKING: THE EFFECTS OF CORPORATE STAFF」としてまとめ、2019年度にボストンで開かれるAcademy of Managment の句に投稿し(2019年1月)、現在最終の採択の返答および論文へのフィードバックを待っているである。企業の戦略意思決定に関する多くの研究は、最終意思決定者であるCEOまた management team (TMT)に注目しているが、本社および本社メンバーが実質的に様々な景ぼしていることを論じている。まだまだ新しい分野であり、今後より深掘りが必要である 2年目以降はそうした深掘りを、データ収集という点だけでなく、日本企業のアジア進出コンテクストをより踏まえて、すすめて行きたい。 The key objective of this study is to clarify the role of headquaters of Japanese firms in the process of expanding in Asian markets. Although Japanese firms have strong "gemba," it i suggested that headquaters are weak. To this end, it is important what unique value can the headquaters add. Given that this is the first year of the three-year project, most of the time and energy was d to reviewing the extant research, while I was also able to find opportunities to meet and int practitoners. The review results are integrated with my past research and resulted in the action paper titled A MISSING ELEMENT OF RESEARCH ON TMT AND STRATEGIC DECISIO	ができ hal pe に を を と には Top を と い に い い い っ い ら っ い ら っ い ら っ い ら っ ら ら ら ら
MAKING: THE EFFECTS OF CORPORATE STAFF. This paper was submitted to Academ	
Management Annual meeting held in Boston in August 2019. This paper discuss the role of corporate staff in organziational strategic decisions, about which most of the past research	
attention to CEOs and top managment teams. I wait for the final decision and feedback.	paiu
Notes	
Genre Research Paper	
URL https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-201	80178

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 2018 年度 学事振興資金(個人研究)研究成果実績報告書

研究代表者	所属	大学院経営管理研究科	職名	教授	補助額	200 (8	(B) =	千円
	氏名	清水 勝彦	氏名 (英語)	katsuhiko shimizu				113

### 研究課題 (日本語)

日本企業のアジア展開と本社機能について

#### 研究課題 (英訳)

Do Japanese headquaters add value in expanding in Asian markets?

## 1. 研究成果実績の概要

本研究の主目的はは、アジア新興国進出・展開に関して日本企業の「本社の価値」についての調査・考察を行うことであった。環境変化の激しい新興国市場では、「スピード」が重視される一方、日本企業として現地企業・欧米グローバル企業と差別化を行うためには、日本市場あるいは過去の欧米市場進出で得られた知見を活かす必要がある。一般に「現場は強いが、本社は弱い」といわれる日本企業のアジア展開での役割、課題を明らかにしたいという問題意識を持って取り組んでいる。

本年度は、そうした問題意識のうちに進める研究の第1年目にあたり、まず既存の研究を整理し、実際の企業へのインタビューなども行って一般的な「本社機能」の課題を整理することができた。これについては、これまでの自分の研究もふまえ、Agency theory およびorganizational politics の視点から英語の学術論文「MISSING ELEMENT OF RESEARCH ON TMT AND STRATEGIC DECISION—MAKING: THE EFFECTS OF CORPORATE STAFF」としてまとめ、2019年度にボストンで開かれる Academy of Managment の年度総会に投稿し(2019年1月)、現在最終の採択の返答および論文へのフィードバックを待っているところである。企業の戦略意思決定に関する多くの研究は、最終意思決定者である CEO または Top management team (TMT)に注目しているが、本社および本社メンバーが実質的に様々な影響を及ぼしていることを論じている。まだまだ新しい分野であり、今後より深掘りが必要である。

2年目以降はそうした深掘りを、データ収集という点だけでなく、日本企業のアジア進出というコンテクストをより踏まえて、すすめて行き たい。

#### 2. 研究成果実績の概要(英訳)

The key objective of this study is to clarify the role of headquaters of Japanese firms in their process of expanding in Asian markets. Although Japanese firms have strong "gemba," it is also suggested that headquaters are weak. To this end, it is important what unique value can the headquaters add.

Given that this is the first year of the three-year project, most of the time and energy was devoted to reviewing the extant research, while I was also able to find opportunities to meet and interview practitoners. The review results are integrated with my past research and resulted in the academic paper titled A MISSING ELEMENT OF RESEARCH ON TMT AND STRATEGIC DECISION-MAKING: THE EFFECTS OF CORPORATE STAFF. This paper was submitted to Academy of Management Annual meeting held in Boston in August 2019. This paper discuss the role of corporate staff in organziational strategic decisions, about which most of the past research paid attention to CEOs and top management teams. I wait for the final decision and feedback.

# 3. 本研究課題に関する発表 発表者氏名 (著者・講演者) 発表課題名 (著書名・演題) 発表学術誌名 (著書発行所・講演学会) 学術誌発行年月 (著書発行所・講演学会) (著書発行年月・講演年月)